

自立支援介護・ パワーリハ通信

第6号



自立支援介護講師認定試験のお知らせ

当学会では、専門的な知識を持って地域等で自立支援介護理論を教授できる人材および当学会主催の研修会や事例検討会等において的確な助言ができる人材を養成することを目的とし、自立支援介護講師認定試験を実施しております。今年度は下記日程にて予定しています。

日程:2022年12月11日(日) 受験料:20,000円

会場:介護老人福祉施設きたざわ苑 または 杜の風・上原 特別養護老人ホーム正吉苑

申込期限:2022年9月10日(土)必着

«自立支援介護講師認定試験 受験資格»

認定試験の受験資格は、学会会員(法人・施設・個人いずれか)であり、かつ以下の要件のいずれかを満たしている者とする。

- 1)自立支援介護を継続的に(概ね3年以上)実践し、当学会主催の研修会等で積極的に活動(助言等)をおこなっている者。
- 2)日本自立支援介護・パワーリハ学術大会で、自立支援介護における演題発表を行った経験がある者。
- 3)「介護」専攻の大学院を修了もしくは見込みで、1)と同等の能力を有すると思われる者。

詳細はホームページをご覧ください。 <https://jsfrc-powerreha.jp/>

パワーリハビリテーション指導員研修・ 上級指導員研修会のお知らせ

下記日程にて研修会の実施を予定しています。

パワーリハビリテーション指導員研修会:令和4年10月8日(土)・9日(日)

パワーリハビリテーション上級指導員研修会:令和4年11月19日(土)

パワーリハビリテーション基礎研修会を受講し、

それぞれの受講条件(上級指導員は指導員研修受講後1年以上、指導員は基礎研修会受講後6ヶ月以上の実務経験を有する)を満たしていれば参加可能です。

詳細はホームページをご覧ください。 <http://jsfrc-powerreha.jp/>

※指導員研修会に関しましては、新型コロナウィルス感染症の状況により1日WEBへ変更または開催を中止となることもありますのでご承知おきください。

学会式自立支援ソフト「じりつくん」をリリースしました!

じりつくんは、学会式「フェイスシート」、「アセスメント総括表」、「認知症周辺症状チェック表」をそのままLIFEのデータに直結させ、提出できるようにシステム化したものです。

<LIFE提出までの流れ>



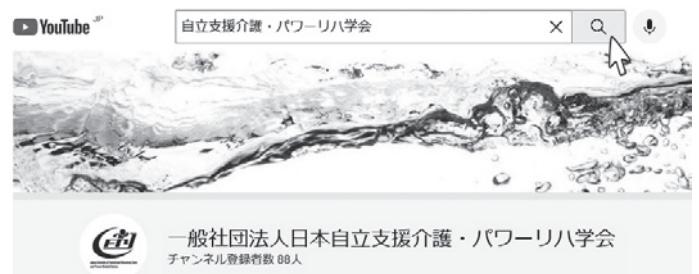
対応する加算は「科学的介護推進体制加算」と「自立支援促進加算」です。1ヶ月8万円(税込)の使用料に対し、毎月約38万円の介護報酬が得られますので、費用対効果が高いシステムとなっています。今後は、他の加算も算定できるようバージョンアップしていく予定ですので、ぜひご活用ください。

*特別養護老人ホーム(定員100名の場合、地域別)

1級地	2級地	3級地	4級地	5級地	6級地	7級地	その他
¥381,500-	¥375,200-	¥373,800-	¥368,900-	¥365,750-	¥359,450-	¥354,900-	¥350,000-

詳しくは、ホームページまたはYouTubeをご覧ください。

お問い合わせ: Mrjiritsu@jsfrc-powerreha.com



第21回日本自立支援介護・パワーリハ学術大会報告

2022年5月21・22日に第21回日本自立支援介護・パワーリハ学術大会が、東京 タワーホール船堀にて感染対策実施を行った上で開催されました。今年は昨年度同様、会場とオンラインでのハイブリット開催となりました。コロナ禍にもかかわらず延べ230名ほどの参加者の方にお集りいただきました。

1日目のシンポジウムでは、「介護職は専門職なのか」をテーマとして、各専門領域の教育者にご登壇いただき、介護職からは東洋大学の古川教授、リハ職からは杏林大学の望月教授、看護職からは順天堂大学の藤尾准教授に、それぞれの領域の教育内容を説明いただきました。結果、看護職およびリハ職と介護職との教育内容の違いが明示され、本学術大会のテーマであります「専門技能としての介護」の現状と今後の課題などについて有意義な討論が行われました。また、2日間におけるセッションでは活発な議論がなされ、今年の学術大会も盛会のうちに終えることができました。

第22回日本自立支援介護・パワーリハ学術大会
令和5年6月3日(土)、4日(日) 東京:タワーホール船堀
演題締切 令和5年1月31日(火)12時まで



Japan Society of Functional Recovery Care
and Power Rehabilitation

文責 / お問い合わせ先
一般社団法人
日本自立支援介護・パワーリハ学会